



## No. 2792

2016-2017年度

会長 松村 秀一

幹事 橋爪 誠治

R広報委員長 上野山栄作



第2640地区	
例会日	毎週木曜日 12:30
例会場	紀州有田商工会議所6F
事務所	〒649-0304 有田市箕島33-1 紀州有田商工会議所2F 有田ロータリークラブ Tel (0737) 82-3128 Fax (0737) 82-1020
創立	昭和34年6月15日
ホームページ	<a href="http://www.aridarc.jp">http://www.aridarc.jp</a>
e-mail	office@aridarc.jp

～ 四つのテスト 言行はこれに照らしてから ～

1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか



～有田ロータリークラブ目標～

親睦を深め  
ロータリーライフを楽しもう



**本日のプログラム**  
 平成28年8月4日 第2793回  
 ・クラブフォーラム  
 「規定審議会で大きく変わったロータリー」  
 ・ソング：「君が代」「奉仕の理想」

**次回のお知らせ**  
 平成28年8月18日 第2794回  
 ・会員卓話：脇村 重徳 君「何故、悲劇は繰り返されるのか～航空機・医療事故から学ぶリスクマネジメント～」  
 ・ソング：「我らの生業」

### 前回の報告（第2792例会）

**開催日** 平成28年7月28日(木)

**点 鐘** (松村会長)

**ゲストの紹介** (井上親睦活動委員長)

ゲスト: 中井 國雄 様 (南和歌山医療センター院長)

### 会長の時間 (松村会長)

今日卓話して下さいます中井國雄先生は学生のころ和歌山医大のヨット部におられました。私は和歌山大学のヨット部におりました。ヨットの活動は学校のグラウンドや体育館でしません。この辺では和歌浦湾という海です。そこで中井先生と知り合いました。應地先生も和歌山医大ヨット部におられましたのでその時から存じあげておりました。私は学校へは最低限しか行かず、あまり勉強しませんでした。



私は放送大学という通信制の大学に昨年入学しました。今の通信制大学はインターネットで授業を受けます。講師の先生はパソコン画面上で、動画や写真を交えて解説してくれます。現場の取材や研究者へのインタビュー等の動画をたくさん用いています。模式図やグラフもとても見やすくなっています。授業科目はたくさんあります。通常の講義が600余りその他に、実際に教室や現場に出掛けて受ける講義が300以上有り合計で1000種類近くあります。その内5%程が新しい科目に毎年入れ替わります。

私は今年の前期「健康長寿のためのスポーツロジー」という科目を受講しました。スポーツロジーとは、「スポーツにより、心身の健康を保持増進して、健康で活力に満ち

た長寿社会を実現させるための学問」で、これは最近出来てきた学問です。従来からありましたスポーツ医学は運動選手に対して、人間の身体能力の限界に挑むため、科学的・医学的に解明し支援するものです。25年ほど前に運動後30分以内に食事をしてタンパク質を摂取すると筋肉が増強するという話を聞きました。スポーツロジーの講義では、2型糖尿病患者が食事の後30分たってから軽い運動を15分すると血糖値を下げる事ができるとあります。運動のタイミングが食事の後と前で全く逆の話がありました。

運動によってメタボリックシンドローム、糖尿病、心血管疾患、骨粗しょう症、変形性膝関節症の改善や予防ができ、また認知症やがんの予防にも効果があるそうです。厚生労働省の標語「一に運動、二に食事、しっかり禁煙、最後にクスリ」があります。健康と長寿には運動がとても重要です。スポーツロジーの運動は健康を保持増進させるためであり、記録を伸ばすためではありません。私は講義を通じてスポーツロジーはロータリークラブの会員維持に有効であることを確信しました。

### 幹事報告 (橋爪(誠)幹事)

- The Rotarian誌8月号(回覧)
- 地区より
  - ①8月のロータリーレートは102円(7月と同じ)
  - ②会員増強委員会出席のお礼状
  - ③2016-17年度国際奉仕活動に関するアンケートのお願い
- 例会終了後、臨時理事会開催いたします。
- 後方揭示
  - ①ガバナー事務局夏期休暇お知らせ 8/11～8/16
  - ②岩出RCの週報
  - ③他クラブの例会変更

## 委員会報告

\*会員組織委員会(嶋田(崇)委員長)

2016年7月24日(日)「テクスピア大阪」地区クラブ会員増強・維持会議に松村会長と出席しました。

### 【会員増強について】

- ・目標設定をすることが大切である。
- ・担当委員長には年齢の若い者を充てる。
- ・女性会員を積極的に入れる。→例会が華やかになる。

### 【会員維持について】

- ・定期的な親睦会の開催をする。
- ・楽しい魅力的な例会を企画する。→興味ある卓話者を招聘する。
- ・夜間例会をたまに開催する。

## 出席報告 (児島例会運営委員)

本日の会員数27名

(出席規定免除会員9名)

出席会員数20名

(出席規定免除会員8名)

76.92%

7/14 84.62%

MU:なし

## ニコニコ箱の報告 (上野山(捷)SAA)

松村君:中井先生、ようこそ有田ロータリークラブへお越しくださいました。卓話楽しみにしています。

橋爪(誠)君:中井國雄先生、ようこそ有田RCへ。本日の卓話よろしくお願ひいたします。

成川(守)君:中井院長、ようこそ有田RCへ。病院協会ではお世話になりました。

橋本君:明日から夏休み。小学校の同窓会や群馬の孫に会いに行ったり、たのしい事が続きます。

橋爪(正)君:中井國雄先生、本日の卓話よろしくお願ひ申し上げます。

中元君:本日、早退させていただきます。

井上君:ガンバレ箕島高校!

酒井君:箕島高校野球部、是非甲子園に行って下さい。今すぐ紀三井寺球場行きたいです。

中村君:中井先生、ようこそ有田RCへお越し下さいました。本日の卓話よろしくお願ひいたします。甲子園へあと1勝!箕島ガンバレ!

嶋田(崇)君:箕島高校、本日決勝戦。甲子園へ行って欲しいですね。

上野山(栄)君:箕島高校野球部ガンバレへ。中井國雄先生、本日は有田RCへようこそお越し下さいました。

應地君:中井先生、お久しぶりです。卓話が楽しみです。

脇村君:國雄先生、有田RCへようこそ!!お兄さん達といつも楽しくやっています。

上野山(捷)君:中井國雄先生、お忙しいところ、ようこそお越し下さいました。本日の卓話ありがとうございます。

## 卓話

### 「日本DMAT活動と課題について」



南和歌山医療センター  
院長

中井 國雄 様

平成17年に厚生労働省主導で、「災害急性期に活動できる機動性を持ったトレーニングを受けた医療チーム」として日本DMAT (Disaster Medical Assistance Team)が組織されました。事務局は立川市の国立病院機構災害医療センターにあり、災害発災時直後に活動本部を立ち上げ全国の被災地への支援を計画します。全国の各災害拠点病院や災害支援病院には5、6名からなるDMATチームが1、2チーム作られています。H25年の段階で全国に1150隊、7200名が登録されており、それぞれ定期的に集められ訓練を行い、災害に備えています。

DMATの詳細な活動内容や方法は、当初平成7年の阪神大震災の経験をもとに作成されましたが、その後実活動を行った広域災害、宮城県沖地震(2005年8月)、能登半島地震(2007年3月)、新潟県中越沖地震(2007年7月)、岩手・宮城内陸地震(2008年6月)、岩手北部地震(2008年7月)を経験し改定が加えられてきましたが、日本史上最大の災害である東日本大震災(2011年3月)での活動の教訓として:

- ・災害情報は能動的に集めなければ入手できない。
  - ・人が集まれば必ず医療需要が存在する。
  - ・便りの無いのは悪い便りの可能性大。
  - ・医療支援の地理的偏在。
  - ・災害が甚大であればあるほど、通常の地域の医療機関の機能が回復するまでに長時間を要する。
- などが挙げられました。

これを受けて平成24年3月に「災害の規模に応じて、DMATの活動が長期間(1週間など)に及ぶ場合には、DMAT2次隊、3次隊等の追加派遣で対応することを考慮すること」が活動要領に追加され、各県に被災地域の情報統合の支援を行う「統括DMAT」を設置しました。その結果、まだ十分とは言えないものの過不足の少ない医療支援を供給することができるようになり、今年4月の熊本地震では、より効果的な医療支援が行われました。

結論として、行政、地域住民、医療機関ともに、南海・東南海地震は必ず起きると認識する必要があり、地震・津波に耐えられるハード作り、建物・ライフライン・通信手段の確認、被災した際の体制作りなどを改めて意識し、その意識を維持するためにも各施設、地域での定期的な災害対応訓練や広域災害対応訓練が重要と考えます。

閉会・点鐘 (松村会長)